

令和元年度 東京・千葉地区2国立大学法人 公共工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和2年2月7日(金) 東京工業大学 田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター 806会議室		
委員	委員長 清水 幹裕(弁護士) 委員 竹内 啓博(公認会計士・税理士) 委員 蟹澤 宏剛(芝浦工業大学教授)		
審議対象期間	平成31年1月1日～令和元年12月31日に契約締結した案件		
	千葉大学	東京工業大学	(備考)
抽出案件(合計)	3件	3件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ては無し。 抽出案件の個別審議に当たっては、委員長を含む全委員が全案件の審議を行った。
建設工事(小計)	3件	2件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	2件	2件	
工事希望型競争入札	0件	0件	
通常指名競争入札	0件	0件	
随意契約	1件	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	0件	1件	
公募型プロポーザル方式	0件	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	0件	
一般競争入札	0件	1件	
随意契約	0件	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

質 問	回 答
<p>1. 千葉大学及び東京工業大学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p> <p>・特になし。</p>	
<p>2. 千葉大学及び東京工業大学における指名停止等の措置状況について</p> <p>・指名停止措置を行った業者に対し損害賠償請求は行うのか？</p>	<p>・落札決定前に業者が辞退した事案については損害賠償請求はしていない。契約後に業者が辞退した事案については、契約解除を行い、規定に基づき契約金額の10%を違約金として請求した。</p>
<p>3. 再苦情処理会議への申立状況について</p> <p>・なし。</p>	
<p>4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について</p> <p><u>①千葉大学(西千葉)人文社会科学系総合研究棟等空調設備改修工事</u></p> <p>・入札を辞退した業者が1社あるが、辞退した理由は？</p> <p>・不落随契協議をおこなったうえで、見積書の提出を依頼する決め手となったようなポイントは何か？</p> <p>・予定価格の事前公表はおこなっているか？</p> <p><u>②千葉大学(松戸)管理棟他とりこわし工事</u></p> <p>・低入札となった業者が3社あったが、3社ともに低入札価格調査をおこなったのか？</p> <p>・8社が入札に参加しているが、参加者が多くなった理由について。</p> <p>・低入札価格調査のポイントについて。</p> <p><u>③千葉大学(西千葉他)教育学部附属中学校教室棟等空調設備改修工事</u></p> <p>・不落随契とは違うのか？随意契約の理由について。</p>	<p>・今回は複数の業者が入札に参加したため、辞退した業者に辞退理由についてのヒアリングはしていない。</p> <p>・今回の工事は2棟の空調機器の更新だったが、それぞれの棟ごとの機器の価格が本学の積算と開きがあった。4回目の見積合わせで落札となったことについては、応札者も利益をなるべく確保したいという考えがあって、小刻みに応札したのではないかと思われる。</p> <p>・予定価格の事前公表はおこなっていない。</p> <p>・1位の業者から順に低入札価格調査を行ったところ、1位の業者が契約に適合した工事が履行可能であると認められたため落札者として決定した。そのため、2位と3位の業者には低入札価格調査を行っていない。</p> <p>・比較的早い時期に発注したことに加えて、解体してから建物を建てるのではなく、既に新しい建物が建っており、残った古い建物を解体するという工事内容も業者が参加しやすいものだったのではないかと考えられる。</p> <p>・入札金額についてのヒアリングの結果、今回は産業廃棄物収集運搬業及び処分業の許可を自社で持っていることから、外注の必要がなく、安価で入札することができたということだった。</p> <p>・不落随契ではなく、一度入札をしたが不落となり不落随契協議の結果も不調となった。冬休みや春休みの期間中に工事を行う必要があり、工期の関係から緊急に契約する必要があったため、随意契約とした。</p>

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・受注した業者は入札に参加しなかった業者なのか？ ・発注の時期は適切だったか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札に参加した業者である。 ・入札を実施した結果不落となり、受注意欲のある業者に対し随意契約の協議を行ったうえで契約を締結したので、結果として契約が11月となった。
<p>④東京工業大学(駒場)国際交流会館屋上防水改修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・当該工事内容については、一度失格となった業者と契約をしなおしたということか？ ・業者から配置予定の技術者が配置できなくなったことによる辞退の申し出があったということだが、仮に業者からの申し出がなかった場合、そのまま工事を進められてしまうのか？ ・配置予定の技術者を変更することはできないのか？ ・15社が入札に参加しているが、参加者が多い理由はあるか？ ・再度入札公告を出した際には、契約解除した業者は入札に参加できなかったのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁工事を含めた別工事として発注しなおし、入札の結果別業者と契約をした。 ・コリンズの登録時に、配置予定の技術者が配置できていないことがわかる。 ・技術者の変更は、病気や退職などによるやむを得ない事情がある場合に限られる。 ・発注時期が4月ということで早かったということが理由として考えられる。また、これまでの傾向として防水工事の入札は参加者が多い傾向がある。 ・指名停止措置期間中であつたため、入札に参加できなかった。
<p>⑤東京工業大学(すずかけ台)B1・B2棟自家発電設備改修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・再度公告で予定価格を下げたということは、発電機の仕様をグレードダウンしたということか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・容量は同じであるが、当初の入札の結果を受けて、更新前の機器と同じキュービクル型の仕様からより汎用性が高く、製造しているメーカー数の多いオープン型の仕様に変更した。仕様を見直したことにより建築工事に変更が生じたが、機器の価格を抑えることができ全体としては微増となった。
<p>⑥東京工業大学(大岡山)サークル棟新営設計業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計は含んでいないのか？ ・今回は最低価格落札方式で発注しているが、設計・コンサルティング業務をプロポーザル方式や総合評価落札方式で発注することはあるのか？ ・競争参加資格に学校施設の新営設計業務の実績とあるが、延べ床面積500㎡以上というのはどのような根拠で設定しているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計は大学で行った。 ・基本設計の部分から発注するようなケースであれば、提案の内容までを問うような調達にする。今回は大学で作成した基本設計を取り入れた比較的に技術的な提案を要さない業務のため最低価格落札方式とした。 ・延べ床面積が小さいほうの建物の2分の1の面積から設定した。

<p>委員講評（東京・千葉地区2国立大学法人全体について）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な総括として、東京・千葉地区2国立大学法人共に問題なし。 ・一般的な意見として、今後とも適切な契約業務を執り行うこと。